

79th

Vitamin Report

自然の恵みにとことんこだわる

 **理研ビタミン株式会社**

第79期 株主通信

2014年4月1日から2015年3月31日まで

証券コード：4526

Vitamin Report 株主の皆さまへ

ビタミンレポート



経営理念

わたしたち理研ビタミンは、「天然物の有効利用を図る技術と商品で、人々の健康と栄養に寄与し、社会に貢献する」という「企業理念」を創立以来一貫して守ってきました。

この「企業理念」を継承し、「経営理念」としています。

1

社会に対し、食を通じて健康と豊かな食生活を提供する

2

コンプライアンス精神に基づいた事業活動を行い、社会的責任を果たす

3

フレキシビリティのあるかつ創造性に溢れた企業として発展する

4

事業活動の視点・範囲を海外にも向け「世界の理研ビタミン」としてのブランドを高める

5

人間尊重の思想に基づき魅力ある職場をつくる

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ご挨拶とともに、2015年3月期の業績の概況についてご報告申し上げます。

当期の概況

当期における国内外経済は、企業業績および雇用情勢等が底固く推移したものの、2014年4月に実施された消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の長期化や、新興諸国の景気減速・成長鈍化といった下振れリスクを抱える中で、先行き不透明な状況が続きました。

食品業界においては、少子高齢化が進行する国内市場での競争激化の中で、物価上昇による購買力の低下懸念に加え、フードディフェンスを含めた「食の安全・安心」への確実な取り組みが強く求められている状況にありました。

このような事業環境のもと、当社グループでは、

◇中核事業での収益力向上

◇海外事業を成長エンジンと見据えた運営強化

を基本に据え、持続的成長を図るべく取り組んできた「中期経営計画」の総仕上げに向けた諸施策を推進いたしました。

国内では、海藻、ドレッシング、エキス・調味料を柱とする「家庭用食品」「業務用食品」部門や「健康機能食品」の分野で、上半期での消費税率引き上げに伴う反動減および夏場の天候不順等の影響を強く受ける結果となったものの、食品用および化成品用「改良剤」分野では、顧客ニーズへの的確な対応と価値提案型の活動推進により、着実な売上実績確保を図ることができました。

一方、海外においては、「改良剤」分野での情報発信基地としての役割を担う「アプリケーションセンター」の機能の最大限の活用や、生産能力拡大のための設備投資等で、成長市場での新規開拓と既存市場での一層の深耕拡大に向けた取り組みに注力したことが、売上実績の確保に繋がりました。

これらの結果、当期の連結売上高は856億3百万円(前期比0.2%増)となりましたが、利益面については、前期までに30億円規模の大型設備投資を行ったマレーシア生産子会社での減価償却費の増加に加え、新商品の市場導入に伴う販売プロモーション費用の投入もあり、営業利益は46億51百万円(前期比7.5%減)、経常利益は46億85百万円(前期比11.5%減)となりました。尚、当期純利益は、特別利益として東京電力株式会社からの受取補償金の計上等もあり、37億95百万円(前期比5.7%増)となりました。

当社は、これまで株主の皆さまへの利益還元を経営上の重要課題の一つと考え、業績の伸長に合わせ、配当性向、経営基盤強化のための内部留保等を総合的に勘案しながら、長期的な視野に立ち、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針とし、連結配当性向30%以上を目標として実施してまいりましたが、一層の利益還元向上を図るべく、次期より連結配当性向35%以上を目標とすることにいたしました。

尚、当期の期末配当につきましては、普通配当1株当たり27円50銭に加え、2014年12月3日をもちまして、当社株式が東京証券取引所市場第二部から同市場第一部銘柄に指定されたことについて、株主の皆さまに感謝の意を表すとともに、同指定を記念いたしまして、1株につき5円の記念配当を実施させていただき、2015年6月9日よりお支払を開始させていただいております。この期末配当を実施いたしました結果、中間配当を含めました年間配当は1株につき60円となりました。

今後の見通し

今後の経済は、世界全体としては、緩やかながらも景気の回復・拡大傾向が持続すると思われるものの、その効果が個人消費マインドの改善にまで十分及んでいるとは未だ言い難い状況であるのに加え、国内食品市場における競争激化も相まって、当社グループを取り巻く事業環境としては、不透明感を払拭できない状況が今後も継続するものと予想されます。

このような環境下、当社グループとしましては、更なる国内事業の収益基盤の強化と、海外事業の構造改革および成長加速を図るべく、2015年4月より新たにスタートした「中期経営計画」への取り組みを推進してまいります。

次期の年間見通し(連結)につきましては、売上高875億円、営業利益55億円、経常利益53億円、当期純利益39億円を見込んでおります。

株主の皆さまにおかれましては、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

保美博

セグメント別事業概況

	売上高・構成比	事業内容	当期の概況	売上高の推移 (百万円)
国内食品事業	<p>国内食品事業 64.8%</p> <p>562億38百万円 (前期比98.4%)</p>	<p>家庭用食品 18.7% ノンオイルドレッシング、わかめ製品、和風調味料、レトルト食品等を一般ご家庭向けに提供しています。</p> <p>業務用食品 23.3% 家庭用食品のカテゴリーに加え、各種調味料やスープといった加工食品を給食・外食産業等に提供しています。</p> <p>加工食品用原料等 22.8% 国内加工食品メーカー向けに、原料や素材となる食品用改良剤・色素・ビタミン等を、医薬品・食品メーカー向けにビタミン等をそれぞれ幅広く提供しています。</p>	<p>国内食品事業は、「家庭用食品」「業務用食品」「加工食品用原料等」のいずれも前期を下回る結果となりました。</p> <p>「家庭用食品」では、『素材力だし』が好調でしたが、ドレッシングが天候不順に伴う野菜価格の高騰で伸び悩み、海藻商品では、『ふえるわかめちゃん』は着実に伸ばしたものの、『わかめスープ』が伸びを欠き、前期を下回りました。</p> <p>「業務用食品」では、『冷凍海藻』の浸透・定着をはじめとする海藻商品の伸長があったものの、他の商品群が伸びを欠き、前期を下回りました。</p> <p>「加工食品用原料等」でも、ユーザーニーズへの的確な対応で、食品用改良剤分野での売上は堅調に実績推移しましたが、消費税の影響を受けた健康食品などが伸びを欠き、前期を下回りました。</p>	<p>通期 57,125 第2四半期 28,554</p> <p>2014年 3月期 2015年 3月期</p> <p>56,238 28,194</p>
	<p>国内化成品 その他事業 7.1%</p> <p>61億69百万円 (前期比100.5%)</p>	<p>プラスチック、農業用フィルム、食品用包材といった国内化成品メーカー向けに改良剤を提供しています。</p> <p>その他事業としては、飼料用ビタミン等を販売しています。</p>	<p>「化成品(改良剤)」では、ビニールハウス向け農業用フィルムが買い控えの影響で低調に推移したこともあり、前期を下回りました。</p> <p>「その他」の事業では、飼料用油脂の売上が前期を上回りました。</p>	<p>通期 6,135 第2四半期 2,945</p> <p>2014年 3月期 2015年 3月期</p> <p>6,169 3,049</p>
	<p>海外事業 28.1%</p> <p>243億61百万円 (前期比105.5%)</p>	<p>食品用改良剤、化成品用改良剤、水産加工品等を海外拠点で生産・販売しています。</p> <p>販売先は数十カ国にわたっています。</p>	<p>「改良剤」分野において、アジア・欧米をはじめとする各エリアの既存市場での深耕と、成長が見込める新市場の開拓・販売拡大に取り組んだ結果、一部エリアで足踏みが見られたものの、着実な実績化を図ることができました。</p> <p>また、水産加工品が高いウエイトを占める青島福生食品有限公司の売上も前期を上回りました。</p>	<p>通期 23,096 第2四半期 10,029</p> <p>2014年 3月期 2015年 3月期</p> <p>24,361 10,355</p>

※上記の各事業の数値には、セグメント間の内部売上高を含めています。構成比は調整前の数値です。

『リケンのノンオイル』がリニューアル

『リケンのノンオイル』シリーズは、1989年に“海藻サラダに良く合う調味料”として発売以来、その美味しさと健康感、汎用性の高さから、ご愛顧いただいております。2015年2月、ブランドを一新するリニューアルを実施。「さらに豊かな香りと味わう美味しさ」をテーマに、味もデザインもフレッシュに生まれ変わりました。

また、190ml品は従来の紙ラベルからシュリンクラベルに変更し、廃棄時の分別をしやすいとともに、一部の商品について賞味期間の延長を行い、使いやすさの改善をはかりました。

これからも皆さまに親しまれるブランドを目指し、更なる進化に向けて努力してまいります。

2015年春 リケンのノンオイル 一新

4つのコンセプト



パッケージデザインの改良例



ご使用後の分別時のミシン目の「はがし口」を分かりやすく明記しました。

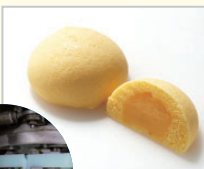
「モバックショウ2015」に出展

2015年2月に幕張メッセで開催された「第24回国際製パン製菓関連産業展モバックショウ2015」に出展いたしました。「食感をデザインする」というテーマのもと、当社は改良剤を用いてパン・和洋菓子の新しいメニュー提案を行いました。当社の改良剤は加工食品の機能を高める効果や生産性を向上させる効果があり、今回は、和食の無形文化遺産登録とヘルシーなイメージから、こうした改良剤技術を活用した「和」「健康」をキーワードとした提案も多く行い、来場者の方々から高い評価をいただきました。



「ひとくちフルーツロール」

カラフルで小さく巻いても割れないロールケーキ



「カスタード蒸しケーキ」

大量生産に向かなかった人気のお土産菓子を機械で生産できるように工夫



「香る 和風ミニパン」

鯉節、柚子という和風素材を練り込んだふわふわ食感のパン



展示ブース

東証一部に上場

2014年12月3日、東京証券取引所（東証）市場第二部から同市場第一部銘柄に指定されました。

今後皆さまのご期待にお応えするべく、業容の拡大と企業価値の向上を目指してまいります。東証一部上場を機に、これまで以上に当社の事業の内容や進捗状況をお知らせしてまいりますので、引き続き一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

◎当日は記念セレモニーが開催され、上場通知書贈呈式と打鐘セレモニーが行われました。



上場通知書贈呈式



東証一部指定を示す電光掲示



打鐘セレモニー

当社は「社会に対し、食を通じて健康と豊かな食生活を提供する」という経営理念のもと、ステークホルダーの皆さまに必要とされる企業であるために、さまざまな活動に取り組んでいます。

ダイバーシティの取り組み

当社にとって、性別、年齢、国籍、宗教などとかわらずに人財が活躍できる「ダイバーシティ」を推進することは、重要なテーマです。今春にはダイバーシティへの取り組み強化の一環として、従来の子育て支援制度の見直しに加え、「子育て支援のためのフレックスタイム勤務制度」、「カムバック制度」を新設し、子育て中の社員の働く環境を整えました。嘱託社員に対しては再雇用制度を見直し、やりがいを感じながら働くことのできる環境づくりに努めています。また、来年度は外国人留学生の採用を予定しており、障がい者の方の雇用につきましても積極的な採用活動を行っております。

このような活動を通じて企業全体の活性化を図ってまいります。

取り組み事例

更なる女性の活躍推進に向けて

当社は、女性活躍推進のための制度の新設や変更によって、能力を存分に発揮できる職場環境をつくることで、企業力の強化につなげたいと考えております。推進にあたっては、現場の感覚を大切に、働く人の考え方と環境作りも含めて有効な施策を立案していきます。

ダイバーシティの推進マガジン「nanairo」や、「仕事と子育ての両立支援ガイドブック」を作成し、社内への意識づけにも努めています。



執行役員総務部長
矢野 邦樹

お客様相談センターの取り組み

当社では、市販商品に関するお問い合わせ窓口として「お客様相談センター」を設置し、お客さまにご安心・ご満足いただけるよう取り組んでいます。いただいた貴重なご意見を社内でご共有し、より良い商品やサービスの提供に活かしています。

商品の改善事例 (一部)

- 「リケン」のノンオイルの紙ラベルが剥がしにくいという声にお応えし、剥がしやすいシュリンクラベルに変更しました。
- お客さまの声にお応えし、「素材力だし」シリーズの栄養成分表示の項目を増やしました。

また、当社ホームページの商品紹介ページにお問い合わせの多い「アレルギー情報」を掲載したのに加え、よくいただくご質問に関する情報や商品の改善事例を「お客様相談センター」ページに新たに掲載するなど、お客さまのお役に立てる情報開示にも努めています。

商品に関してご不明点・ご要望等がございましたら、お気軽にお客様相談センターまでお問い合わせください。

お客様相談センター ☎ 0120-831-009
受付時間：月～金曜日 9:00～17:30（祝日を除く）



「お客様相談センター」ページ
(<http://www.rikenvitamin.jp/inquiry/>)

お客さまとのコミュニケーションを図る上で、当センターは大きな役割を担っております。時代とともにお客さまからいただくお問い合わせの内容も変化していますので、その1つ1つに誠実に対応し、商品の使い方や生活に役立つ情報をできるだけわかりやすく提供しています。

お客さまからいただく情報は当社にとっては宝物です。商品改善や応用メニュー作りなどのように活かすかを社内に提案し、より身近なお客様相談センターを目指してまいります。



お客様相談センター長
鶴田 陽一

特定非営利活動法人 国連WFP協会への協力



©WFP/Julia Stewart

国連WFP協会は、WFP国連世界食糧計画*の日本における民間協力の公式窓口です。当社は2005年に同協会の評議会に加入して以来、評議員として飢餓撲滅の活動に参加しています。

従業員有志による募金を実施し、会社からの寄付金と併せて国連WFPの学校給食プログラムのために寄付を行う取り組みや、子どもたちの飢餓をなくすために開催されるチャリティーウォーク「WFPウォーク・ザ・ワールド」への参加を継続して行っています。

*WFP国連世界食糧計画：飢餓のない世界を目指して活動する国連唯一の食糧支援機関



「WFPウォーク・ザ・ワールド」を終えて

新中期経営計画 (2015年4月～2018年3月)

世界的レベルで政治・経済・社会情勢は刻々と変化し、当社グループを取り巻く事業環境にも大きな影響を及ぼしております。

先行き不透明な時代にあっても、企業グループとしてあるべき姿を追究する経営ビジョンのもと、「豊かな食生活、社会的責任、創造力、グローバル、人間尊重」のキーワードで表現される「経営理念」の基本姿勢を堅持して社会への貢献を果たす中で、一層の収益基盤の向上と持続的成長が可能な強い企業体質の構築を目指して、スピード感を伴った経営に取り組んでまいります。

2015年4月から2018年3月までの3年間を対象とする「新中期経営計画」を策定し、2015年5月15日に発表いたしました。

■ 経営基本方針

1. グループ経営の推進により、事業基盤を強化し、グローバルなフィールドでの成長を図り、更なる企業価値向上を目指す
2. 独自技術の活用と、事業の選択と集中を徹底し、高付加価値製品の追求により、企業体質の強化を目指す
3. 健全な事業運営を推進するコンプライアンス体制・ガバナンス体制のもと、安全な製品の提供で社会の信頼に応える企業を目指す

目標数値 2018/3月期

売上高 945億円

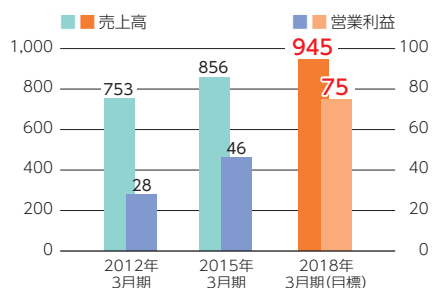
営業利益 75億円

経常利益 75億円

当期純利益 51億円

ROE 6.0%以上

■ 売上高・営業利益の推移 (単位: 億円)



■ 目指すべき姿

収益性重視の質の強化

国内マーケット 【収益基盤の確立】

成熟市場として認識し、収益性重視の質の強化を図る

1. 差別化された高付加価値商品の提案
2. 生産効率化・営業力の一層の向上による安定的な収益の確保

■ 家庭用食品

- ① ドレッシング… ノンオイルシリーズ商品強化によるシェア拡大
… オイル入りドレッシングの継続育成
- ② 調味料… 食塩無添加『素材力だし』ブランドのシリーズ展開
- ③ 海藻 … 『わかめのリケンから海藻のリケン』への展開

■ 業務用食品

- ① 冷凍海藻を中心に、わかめシェア拡大
- ② CVS等の中食市場や外食産業への積極提案
- ③ 老健市場等、社会的ニーズに応える市場への本格参入

■ 加工食品用原料等

- ① 新市場・新事業展開によるシェア拡大の推進
- ② (製パン・製菓・豆腐・麺・飲料等) 各業界No.1メーカーへの戦略推進
- ③ 健康機能食品～独自性のある素材、当社周辺の素材を活かす

■ 国内化成品その他

- ① ライフスタイルや顧客ニーズの変化に応じた新機能製品の開発や新規需要の創出
- ② スペシャリティ分野強化による収益基盤の確立
- ③ 当社が強い分野での新規用途開発
- ④ 新事業、新市場への参入 (グリーン&エコ製品の展開等)

■ 経営基本戦略

1. 中核事業での国内外マーケットシェア拡大と収益力の向上を目指す
2. 将来を見据えたグローバル展開での事業戦略の一層の推進を図る
3. 新市場創出に繋がる独自性豊かな新製品開発と新技術開発を推進する
4. 生産体制の強化に繋がる拠点再構築を推進する
5. 品質保証体制の更なる強化を図り、顧客・消費者の信頼を高める
6. アライアンス・パートナーとの更なる事業推進を図る
7. CSR経営の一層の推進を図る

グローバルカンパニーへの成長戦略

海外マーケット 【構造基盤の強化】

成長市場として認識し、グローバル化を図り、
シェア拡大を目指す

1. アジア/新興国を中心とした販売強化
2. 生産拠点の強化

■ 改良剤(食品用/化成品用)

- ① これまでの設備拡充を基盤とし、高付加価値製剤の強化
- ② 新組織グローバルマーケティング部による新市場、新業界への参入
- ③ 海外生産会社のローコストプロダクションによる収益体質強化

■ 青島福生食品

- ① 収益の改善・向上に向けたビジネスモデル転換の推進
 - ・機械化によるローコストプロダクション推進
 - ・新事業分野へのチャレンジ
 - ・内需の高まる中国国内市場の開拓

ひろがる海外展開

当社グループは、海外事業展開を積極的に進めています。

リケビタ・マレーシアの更なる設備増強

改良剤の主要生産拠点の1つであるリケビタ・マレーシアは、従来より生産規模の拡大を進めております。2014年1月に生産量が3割増となりましたが、引き続き設備の増強工事を行っております。約16億円を投じ、反応蒸留機など新設備を導入するもので、完成後の生産能力は現在の年間54,000トンから68,000トンとなり、稼働は2016年1月を予定しています。

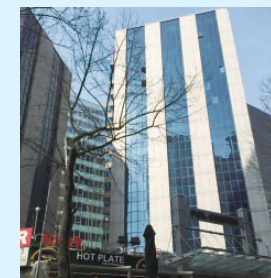


リケビタ・マレーシアの外観と設備工事中の建屋

現地法人リケビタ・トルコを設立

当社グループは、2013年からトルコのイスタンブール市に駐在員事務所を設け市場調査等を進めてまいりました。海外における改良剤事業の更なる深耕と拡大を目指し、2015年3月に現地法人リケビタ・トルコが設立されました。

成長著しい新興国エリアであるトルコ・中近東・アフリカ(一部エリアを除く)へ向けて、現地のニーズに合った改良剤を提供していくことで、更なる販売拡大に繋げてまいります。



リケビタ・トルコが入居するビル

上海で「FIC2015」に出展

2015年4月に中国上海で開催された「FIC2015*」は中国食品添加物関連の最大規模の展示会であり、中国内外の企業から1,000社以上の出展がありました。

理研維他精化食品工業(上海)有限公司は毎年出展し、食品用製剤、天然色素、ビタミンE等を幅広く紹介しております。

食品の安全意識が高まっている中国では、日本の食品関連企業の存在は大きくなってきており、更なる市場シェアの拡大を目指してまいります。

※FIC: Food Ingredients China

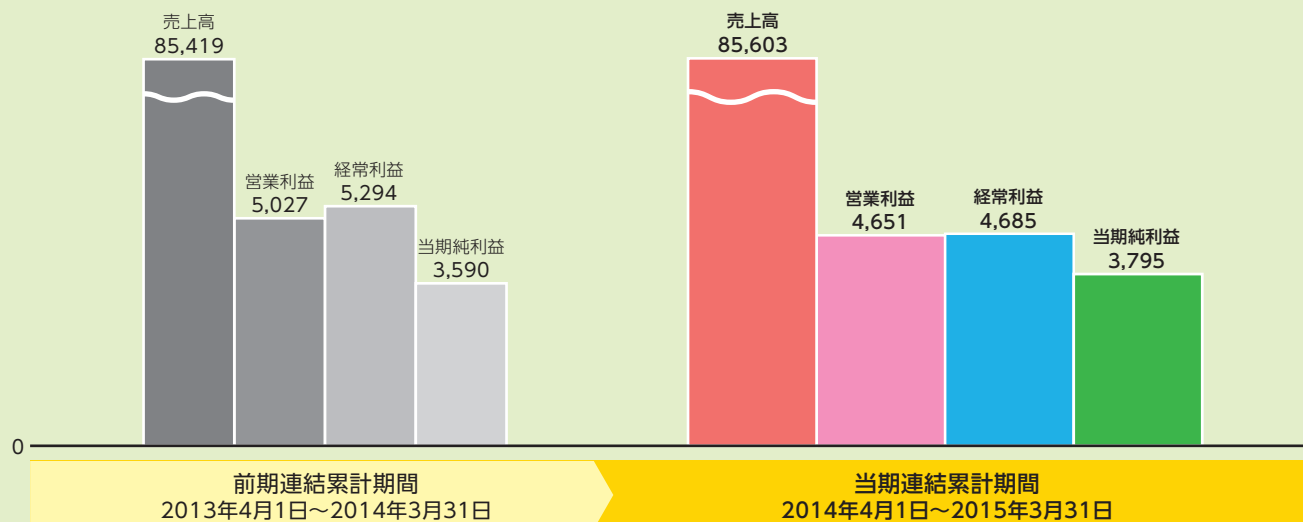


上海展示会場にて

連結財務諸表

(百万円未満は切り捨てて表示してあります)

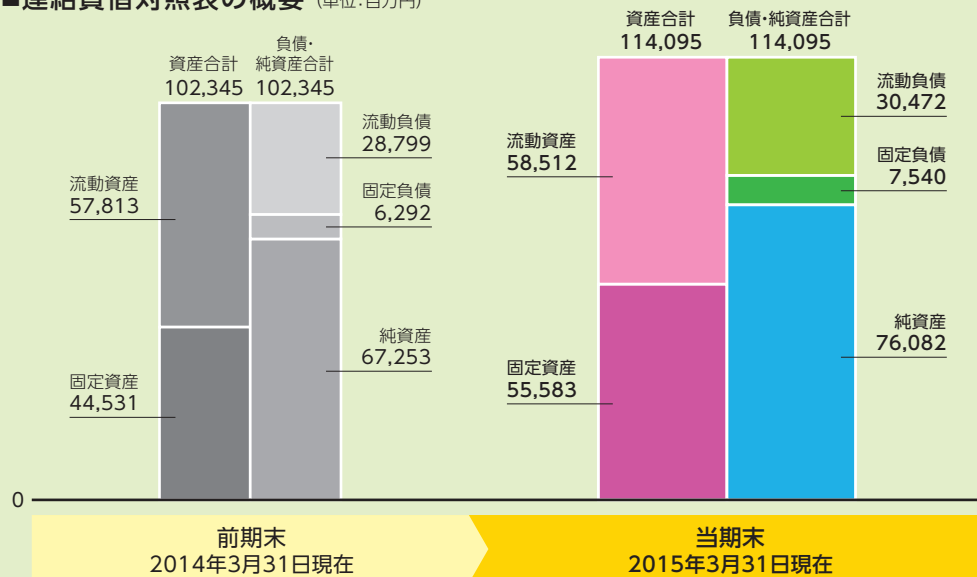
■連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



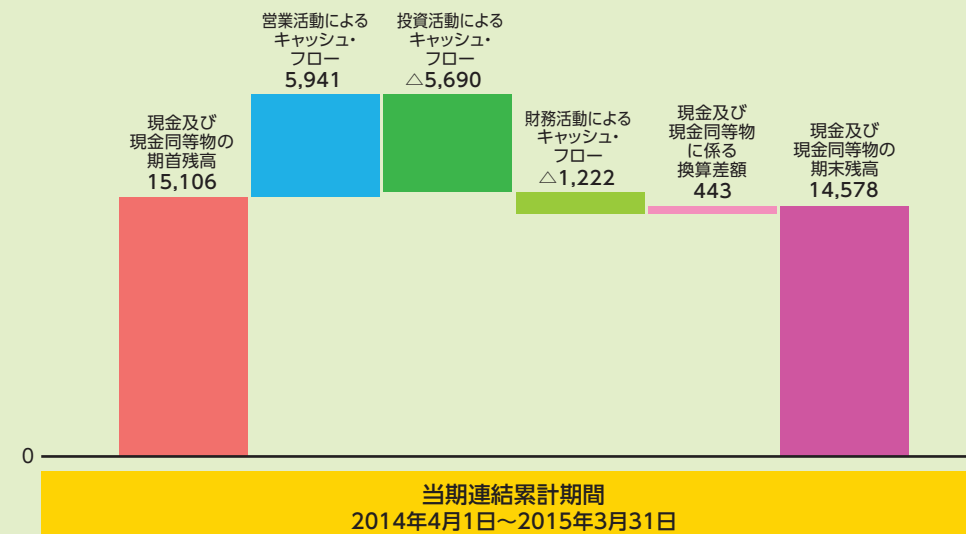
配当基本方針

当社は、これまで株主の皆さまへの利益還元を経営上の重要課題の一つと考え、業績の伸長に合わせ、配当性向、経営基盤強化のための内部留保等を総合的に勘案しながら、長期的な視野に立ち、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針とし、連結配当性向30%以上を目標として実施してまいりましたが、一層の利益還元向上を図るべく、次期より連結配当性向35%以上を目標とすることにいたしました。

■連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



■連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



“おいしさと健康”をお届けする 理研ビタミンの 通信販売のご案内

プロの味をご家庭で 業務用商品の通信販売のご案内

主に当社の業務用商品を通信販売でもお求めいただけます。ドレッシングや海藻関連、その他さまざまな商品を取り扱っております。

ホームページをご覧くださいか、フリーダイヤルにてお問い合わせください。詳細なカタログをお送りいたします。

3,240円(税込)以上は送料無料で。

◎「通販センター」ホームページ
<http://www.rike-vita.jp/order/>

☎ 0120-087-319

創業時の理念が 今に息づくヘルスケア事業 その確かな素材を通信販売で!

ヘルスケア事業部では、科学的根拠に基づいた健康食品を通信販売で扱っております。血圧が高めの方に向けた、トクホの『わかめペプチドゼリー』をはじめ、乳酸菌発酵トマトエキスを配合し、毎朝のスッキリとおいしさを両立した『ウマイ青汁』などをご用意しております。

◎『サポートプラス』
<http://www.riken-supportplus.jp/>

◎おいしい健康情報『健康成分ラボ』
<http://www.rikenvitamin.jp/healthcare/>

理研 健康成分ラボ

検索

☎ 0120-735-123

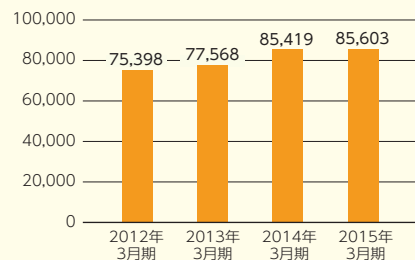
■連結株主資本等変動計算書 (2014年4月1日から2015年3月31日まで)

(単位:百万円)

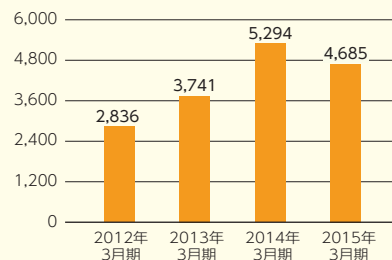
	株主資本					その他の包括 利益累計額	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	2,537	2,466	56,656	△3,746	57,914	8,752	586	67,253
会計方針の変更による累積的影響額			259		259			259
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,537	2,466	56,915	△3,746	58,173	8,752	586	67,512
当期変動額								
剰余金の配当			△1,271		△1,271			△1,271
当期純利益			3,795		3,795			3,795
自己株式の取得				△0	△0			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						6,027	18	6,045
当期変動額合計	—	—	2,524	△0	2,523	6,027	18	8,569
当期末残高	2,537	2,466	59,440	△3,747	60,697	14,779	605	76,082

財務ハイライト

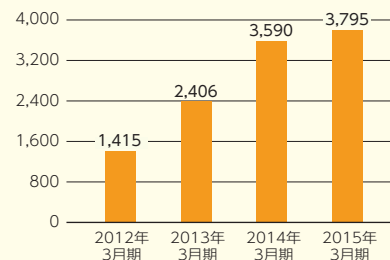
■売上高 (単位:百万円)



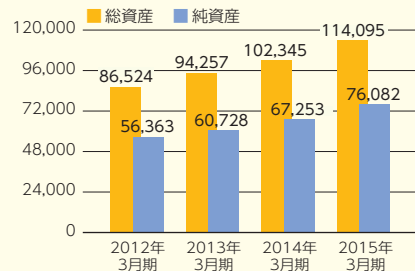
■経常利益 (単位:百万円)



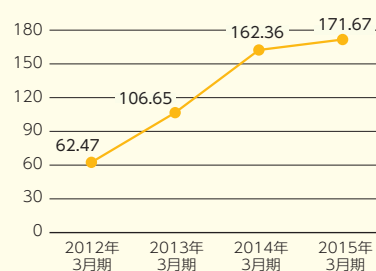
■当期純利益 (単位:百万円)



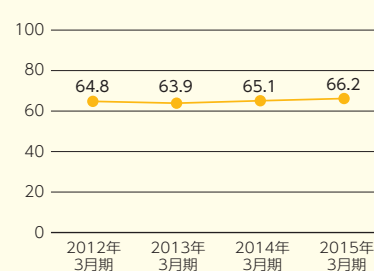
■総資産/純資産 (単位:百万円)



■1株当たり当期純利益 (単位:円)



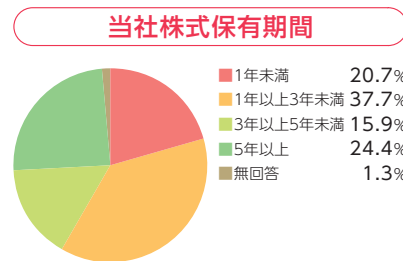
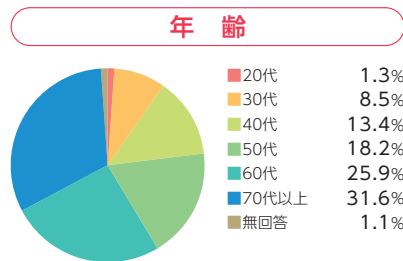
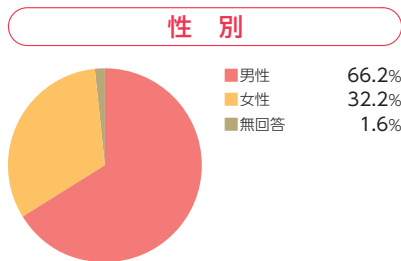
■自己資本比率 (単位:%)



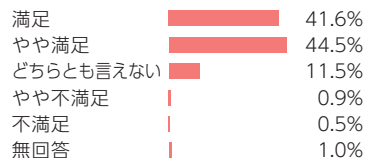


昨年12月に第79期第2四半期株主通信のご送付とともに実施いたしました「株主さまアンケート」につきましては、933名の株主さまからご回答ならびに貴重なご意見をいただきました。皆さまからいただきました数々のご意見は、今後の経営方針やIR活動の参考にさせていただきたいと思っております。アンケート結果の概要を下記のとおりご報告いたします。 *回答率:13.3%

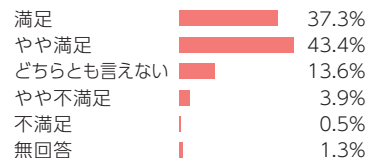
■ いただいた株主さまの属性と回答



Q1. 今回の株主通信について感想をお聞かせください。*わかりやすさ・読みやすさ



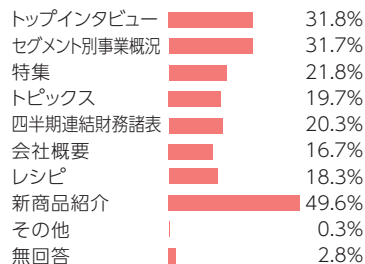
Q2. 今回の株主通信について感想をお聞かせください。*情報量



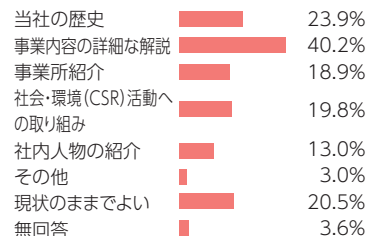
Q3. 今回の株主通信について感想をお聞かせください。*財務情報のグラフ化



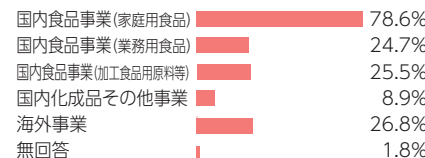
Q4. 今回の株主通信について感想をお聞かせください。*特に興味を持たれた内容(複数回答:1,988件)



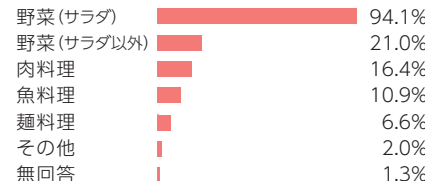
Q5. 今後、株主通信で取り上げてほしいテーマはありますか。(複数回答:1,333件)



Q6. 当社グループで興味のある事業はどれですか。(複数回答:1,551件)



Q7. ドレッシングをどのように使っていますか。(複数回答:1,422件)



■ 当社に対する主なご意見、ご要望

- 株主優待にいつも珍しいものが入っており、食卓で会話がはずみ嬉しいです。今後もよろしくお願いします。
- 子どもを持つ親として“無添加”等は興味深いです。今後も身体によい商品開発を望みます。
- これまで家でサラダを食べることがなかったのですが、株主になってから優待でいただくドレッシングを使ってよく食べるようになりました。野菜以外の料理にも使えるようなので、色々試していきたいです。
- ドレッシングを利用して海藻の重要性(バランス)をPRしてほしいです。
- 目標とするROEの水準について言及してほしいです。
- 少子高齢化が進行する中で、業容拡大を図るには海外事業のウエイトをいかに高めるかがカギとなります。御社のグローバル展開に期待したいです。
- 食の安心・安全をくれぐれもよろしくお願いいたします。
- 長期保有したいと考えています。
- 配当・優待ともに満足しております。ますますのご発展をお祈りいたします。
- 東証一部上場おめでとうございます。これを機会に、ますます発展されますように。

■ 当社へのご質問と回答

Q. “食育”をよく耳にします。

ぜひ取り組みを強化してください。

- A. 当社は、主に首都圏の小学校で、当社の事業資産である「わかめ」を用いた食育授業をしております。栄養や生態などについて楽しく学習していただく中で「わかめ」が健康を支える食材であることをお伝えするとともに、自然科学に興味を持ってもらえるよう努めています。

この授業は、社内制度である「わかめ学習認定講師育成制度」で教育・認定を受けた社員が実施しており、本制度により毎年新しい認定講師が生まれ、活動を拡大しています。確立された体制を活かし、今後も実施回数・精度の更なる向上を目指してまいります。

会社概要

■会社概要 (2015年3月31日現在)

商号	理研ビタミン株式会社
設立日	1949年8月27日
本社所在地	〒101-8370 東京都千代田区三崎町2-9-18
TEL(代表)	03-5275-5111
ホームページアドレス	http://www.rikenvitamin.jp
資本金	2,537百万円
事業内容	家庭用食品、業務用食品、加工食品用原料、 食品用改良剤、化成品用改良剤、ビタミン 類などの製造・販売
従業員数	916人(連結2,566人)

■国内事業所 (2015年3月31日現在)

本社 本社別館 大阪支店 札幌支店 仙台支店
 北関東支店 名古屋支店 広島支店 福岡支店
 草加工場 千葉工場 東京工場 京都工場 大阪工場
 アプリケーションセンター プレゼンテーションセンター

■主な連結子会社 (2015年3月31日現在)

国内子会社

理研食品株式会社
 株式会社健正堂
 栄研商事株式会社

海外子会社

天津理研維他食品有限公司
 青島福生食品有限公司
 理研食品(大連)有限公司
 理研維他精化食品工業(上海)有限公司
 理研維他垂細垂股份有限公司
 RIKEVITA(MALAYSIA)SDN.BHD.
 RIKEVITA(SINGAPORE)PTE LTD
 RIKEN VITAMIN USA INC.
 GUYMON EXTRACTS INC.
 RIKEN VITAMIN EUROPE GmbH

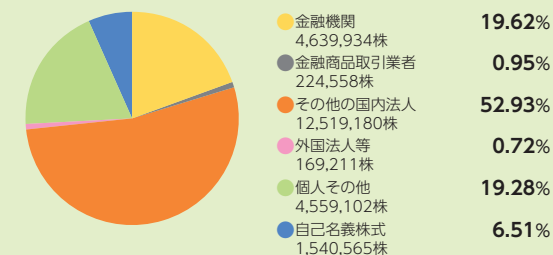
■株式の状況 (2015年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 90,000,000株
- 発行済株式の総数 23,652,550株
- 株主数 6,608名

大株主(上位10名)	持株数(千株)	持株比率(%)
キッコーマン株式会社	7,593	34.34
武田薬品工業株式会社	2,076	9.39
理研ビタミン取引先持株会	1,339	6.05
株式会社みずほ銀行	1,102	4.98
永持 孝之進	686	3.10
三菱UFJ信託銀行株式会社	600	2.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (ミヨシ油脂株式会社退職給付信託口)	540	2.44
株式会社三菱東京UFJ銀行	527	2.38
株式会社安藤・間	328	1.48
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	306	1.38

(*1) 当社は自己株式1,540千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
 (*2) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■所有者別株式分布状況 (2015年3月31日現在)



■所有株数別分布状況 (2015年3月31日現在)



■取締役および監査役 (2015年6月24日現在)

代表取締役社長 執行役員	堺 美保
代表取締役専務取締役 執行役員	伊東 信平
常務取締役 執行役員	大澤 寛
常務取締役 執行役員	山木 一彦
取締役 執行役員	属 博史
取締役 執行役員	細谷 清夫
取締役 執行役員	仲野 隆久
取締役 執行役員	指田 和幸
取締役 執行役員	佐藤 和弘
取締役(社外)	北原 弘也
常勤監査役	吉田 正臣
常勤監査役(社外)	藤永 敏
監査役(社外)	竹俣 耕一
監査役(社外)	末吉 永久

■執行役員 (2015年7月1日予定)

執行役員	金森 一彦
執行役員	矢野 邦樹
執行役員	有賀 朗
執行役員	藤田 満
執行役員	齋藤 桂
執行役員	原 守
執行役員	清水 雅彦
執行役員	黒澤 道夫
執行役員	加藤 栄一
執行役員	中村 一知
執行役員	道津 信夫
執行役員	望月 敦
執行役員	村上 斎

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 証券代行部
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 TEL：0120-232-711
 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所
 公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL：
<http://www.rikenvitamin.jp>
 (ただし、電子公告によることができない事故、
 その他やむを得ない事由が生じたときは、
 日本経済新聞に掲載いたします。)

お知らせ

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

おすすめ!
レシピ
塩レモンピクルス
(常備菜)

材料(2~3人分)

- きゅうり 1本
- ミニトマト 6個
- セロリ 60g
- みょうが 2本
- 玉ねぎ 1/4個
- パプリカ 1/2個
- などお好みの野菜
- 「リケン」のノンオイル
 青じそ塩レモン 大さじ8

作り方

- きゅうり 横半分にした後、縦半分になり、種を取る
 ミニトマト ヘタを取り、つまようじで2~3か所穴を開ける
 セロリ 筋を取り、1cm幅程度に切る
 みょうが 縦半分にする
 玉ねぎ 2cm×2cm程度に切る
 パプリカ 縦8~10等分に切る
- 密閉容器に①と「リケン」のノンオイル 青じそ塩レモンを入れ、冷蔵庫で漬ける

今回使うのはコレ!



新商品紹介

『リケン」のノンオイル 青じそ塩レモン』

まるごと搾ったレモンピューレに、まろやかな塩味の新しい洋風ノンオイルドレッシングです。かぼちゃやアボカド、魚介等に良く合います。12kcal/15g。



『リケン」のノンオイル 味わうオニオン』

玉ねぎのまろやかな旨みと、きざみオリーブの豊かな味わいのノンオイルドレッシング。トマトやブロッコリーに良く合います。13kcal/15g。



『ごちそうマジック® グルメ和風ドレッシング』

炒めた玉ねぎの甘みと旨みをプラスした、醤油ベースのドレッシング。牛肉とにんにくの旨みが詰まった極旨オイルのkokをを加えた絶妙な味わい。26kcal/15g。



『ごちそうマジック® コクのねぎ塩ドレッシング』

長ねぎのまろやかな旨みとさわやかなレモンの酸味が特長。風味豊かなごま油に、豚と長ねぎの旨みが詰まった極旨オイルのkokを加えました。25kcal/15g。



『海草サラダ』がさらに美味しくリニューアル

- 水でもどすだけで簡単に作れる、食物繊維・カルシウム・鉄たっぷり海藻サラダ。
- ◎『乾燥海藻サラダ』: 剣山茎わかめを使用したコリコリ食感を楽しめるサラダ、5種類の海藻と白きくらげ・こんにやく寒天入り。
 - ◎『さっぱりおいしい海藻サラダ(ノンオイル青じそ付き)』: まるごとわかめ(わかめ・茎わかめ・めかぶ)を含む8種類の具材入り。
 - ◎『くせになるうまさ海藻サラダ(ノンオイルうま塩付き)』: 6種類の海藻と白きくらげ・こんにやく寒天入りで、彩り鮮やかなサラダ。

『海草サラダ』



株主優待のお知らせ

株主様の日頃のご支援に感謝するとともに、理研ビタミンの事業内容をより一層ご理解いただくため、株主優待制度として理研ビタミン製品を贈呈しております。

- 対象株主様 毎年3月末および9月末現在の株主名簿に記載された所有株式数100株以上の株主様。
- 優待内容 それぞれの基準日現在の対象株主様に対し、保有期間および保有株式数に応じて下記の基準で当社製品を贈呈いたします。
- 贈呈予定時期 毎年6月下旬および11月下旬に贈呈いたします。

保有株式数	保有期間 3年未満	保有期間 3年以上
100株以上~500株未満	1,000円相当	2,000円相当
500株以上~1,000株未満	2,000円相当	3,000円相当
1,000株以上~3,000株未満	3,000円相当	4,000円相当
3,000株以上~	4,000円相当	5,000円相当

(注)「保有期間3年以上」の対象となる株主様は、毎年3月末および9月末の株主名簿に同一株主番号で、7回以上連続して記載された株主様となります。



※写真はイメージです
 ※パッケージは変更になる場合があります